



ビジネスセキュリティシステム  
Win Bird Business Security System

株式会社ケイアイティ

# Win Bird BSS

ご説明資料

2010年11月

 ウィンバード  
**Win Bird** ウィンバード 株式会社

株式会社 ケイアイティ

情報漏洩のほとんどは

**！** うっかりミスによる  
ヒューマンエラーです。



- 1 顧客名簿をどこかに置き忘れてしまった！
- 2 顧客の個人情報が入ったUSBメモリを紛失してしまった！
- 3 車の中に社外秘のデータが入ったパソコンを入れたままで盗まれてしまった！
- 4 自宅のパソコンで作業をしていたら、使用したファイルがウイルスに感染し自動流出してしまった！

など...

(2) 漏えい原因

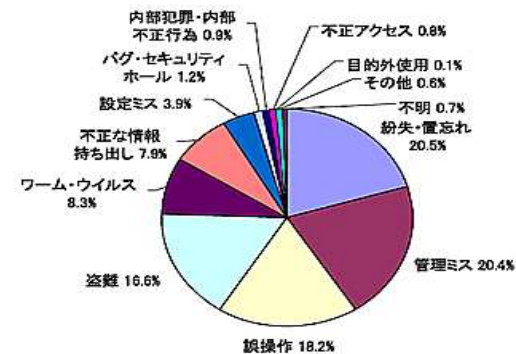


図 4：漏えい原因比率（件数）

2006年と同様に「紛失・置忘れ」、「盗難」、「誤操作」の比率が多く上位となっているが、2006年に8.3%であった「管理ミス」が2007年には20.4%と大幅に増加し、「紛失・置忘れ」とほぼ同じ割合となったことが特徴的である。

これは内部統制が大きく影響しているものと考えられる。個人情報保護法を含めた「事業活動に関わる法令等の遵守」、「資産の保全」、「IT統制」など内部統制への取り組みが進み、組織内情報の管理が強化されると同時に棚卸しなども行われ、組織の建物内での誤廃棄や紛失についての公表が進んだものと推測できる。

「管理ミス」の内訳は、約半数が誤廃棄で誤って他の情報と一緒に廃棄した例が多く、またUSBフラッシュメモリなどの可搬媒体の紛失、郵送や配送中の紛失なども目立った。

「誤操作」の内訳は、47.1%が電子メールの誤送信に関わるもので、38.9%が紙媒

情報の流出を防ぎ、重要なデータを **守る!**

## WinBird BSS 3つのキーワード



**Win Bird BSS**

大切な情報の漏洩を防ぐ、  
**安心安全**なセキュリティ  
システムです!!

市販のUSBメモリ利用による

**コスト削減**

情報の外部流出を防ぐ

**サテライトワーキング**

生体認証と同等な

**ハードウェア認証**

## 市販のUSBメモリ利用による

# コスト削減

**Win Bird  
BSS**

は、高価なUSBトークン  
USBキーを利用していません。

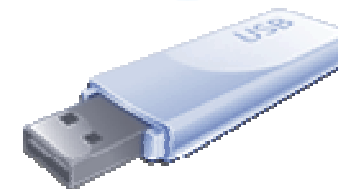
**市販のUSBメモリでOK！**

ごく一般的なUSBメモリが利用できます。  
社員様がお持ちのUSBメモリを利用できます。

一般のUSBメモリを、あらかじめBSSへシステム登録し、  
**暗号化**します。

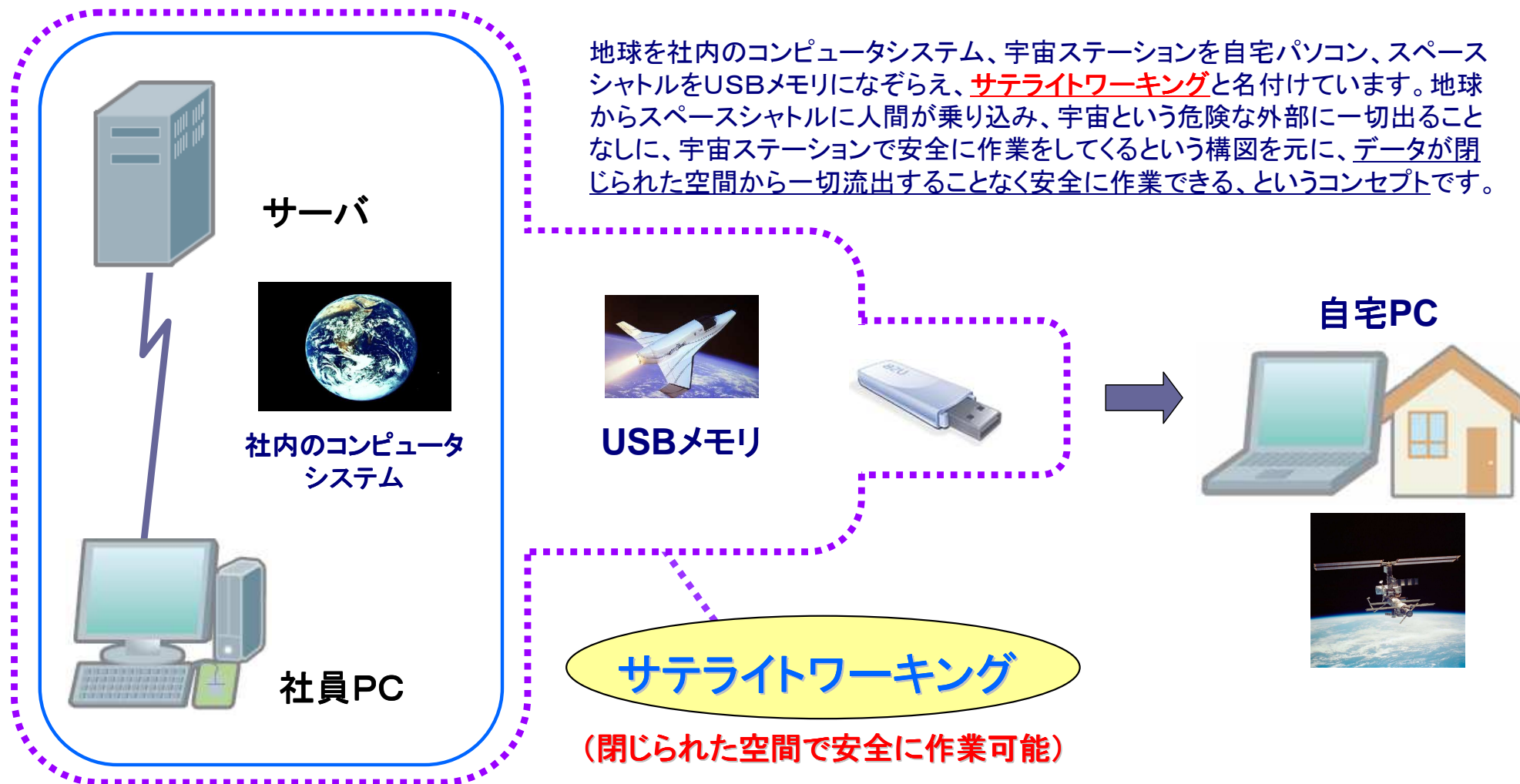
**暗号化**されたUSBメモリのみ使用可能となります。

必要コスト  
**大幅DOWN↓**



## 情報の外部流出を防ぐ

# サテライトワーキング



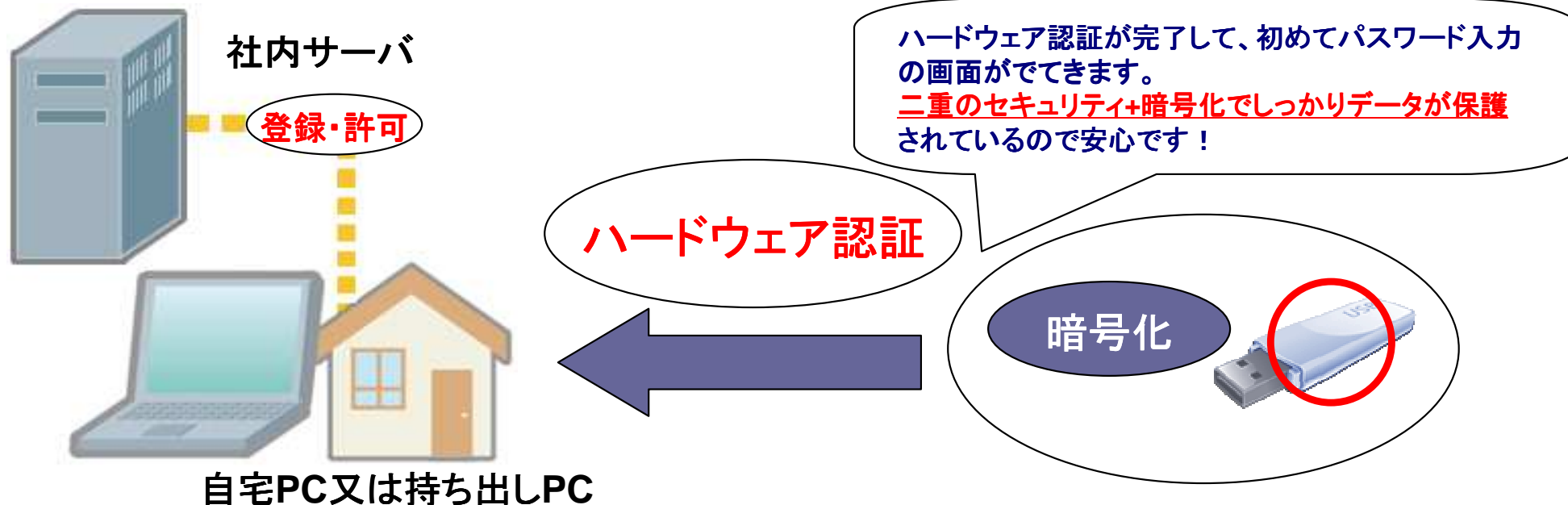
## 生体認証と同等な

# ハードウェア認証

登録され暗号化されたUSBメモリを社外で使用するPC(自宅PC等)に差し込むことで、そのパソコン独自の情報を保持します。(初回時のみ)

サーバにその情報を登録しておき、社外で使用するPCをシステムに登録します。

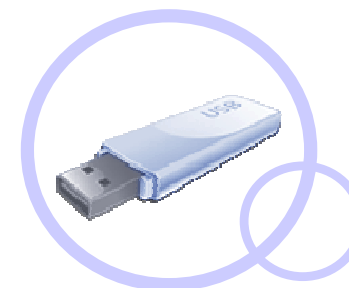
登録されていないパソコンで、登録されたUSBメモリを利用することは出来ない仕組みとなっています。(暗号化されたデータ領域を見ることができないのは勿論、パスワード入力の画面すら出てきません。)





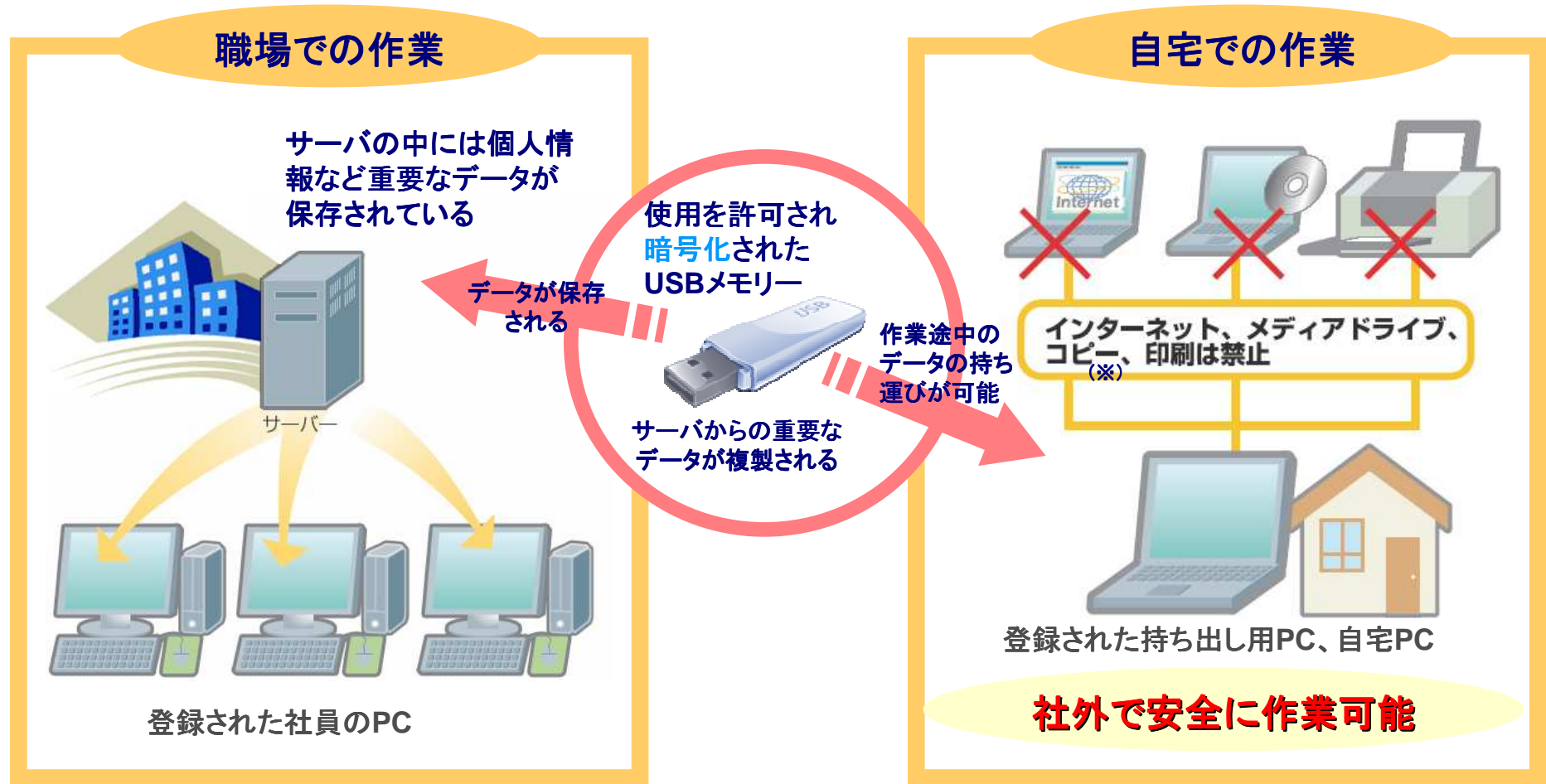
## こんな機能を実現します！

- USBメモリと使用PCを登録制にします。
- USBメモリに保存するデータはパスワードで保護され暗号化されます。
- USBメモリ使用時のファイル操作をログとして保存できます。
- 自宅など、社外に持出したデータ使用時は、コピー(※)、メディアドライブ使用、印刷ができません。また、インターネットは自動的に遮断されます。



※自宅パソコン又は持ち出しパソコン(ローカル)へのコピーが禁止となります。

- 自宅パソコンのローカルディスク内のデータが”許可されたUSBメモリ”へコピーが可能に。
- 自動ウィルス・スキャンが走り、情報流出を防止(オートスキャントリガ実装)。



※自宅パソコン(ローカル)へのコピーが禁止となります。

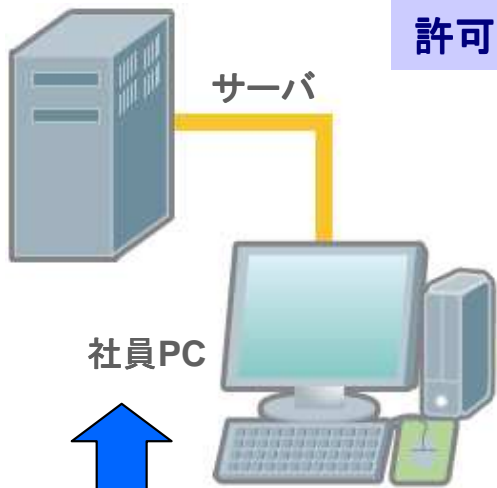
USBメモリー及びPC(職場のPC、持ち出し用PC、自宅の個人PC)はBSSのシステムにあらかじめ登録。登録されていないと使用できないシステムとなります。



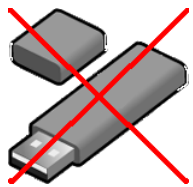
# 1. USBメモリとPCを登録制にします

許可され暗号化されたUSBメモリのみ使用可能！

社内の社員のPCはもちろん、自宅や社外で作業をする場合のPCも登録制にすることにより**自宅や社外での作業を安心して行えます。**



許可されていないUSBメモリを使うと...



登録されていないUSBメモリ

許可されていないUSBメモリなので使用できません。

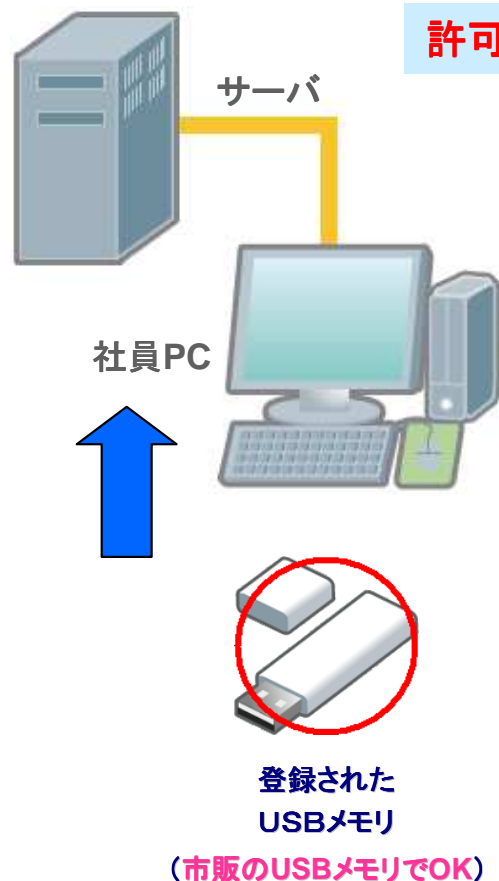
許可されていないUSBメモリでも中身は閲覧できますが...データをコピーしようとするとき...

コーションが出てデータの持ち出しはできません。

## 2. データはパスワードにより保護され暗号化されます

万一、USBメモリを紛失しても大丈夫！！

どうしても持ち出さなければならないデータは、USBメモリに暗号化して保存できます。



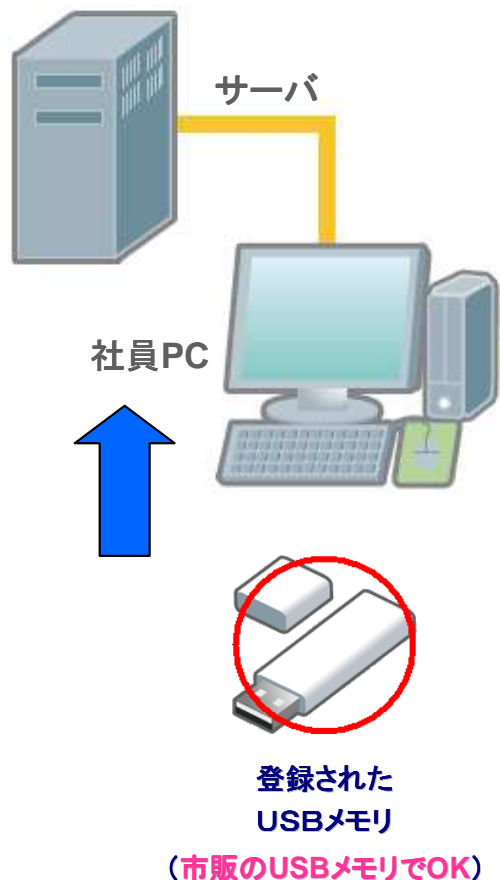
許可されたUSBメモリを使うと...

- ①データを保存する際にパスワードを設定します。
- ②暗号化されたファイルは登録されたパソコンでパスワードを入力しなければ開けません。
- ③万一、USBメモリーを紛失しても、第三者に暗号化されたデータを見られることはありません。  
(※第三者のPCではパスワードの入力画面すら出てきません。)

### 3. USBメモリ使用時のファイル操作をログとして保存します

いつ！誰が！何を！操作ログは全て記録！

USBメモリへの操作ログは、管理者がいつでも確認することができます。



操作ログは全てサーバに記録されます

年月日	コンピュータ名	使用者名	操作	ファイル名
2009/01/22 15:04:18	PC16	鈴木 太郎	<使用>	
2009/01/22 15:04:37	PC16	<WinBird>	<起動>	
2009/01/22 15:10:28	PC16	<WinBird>	<起動>	
2009/01/23 10:24:55	PC16	<User1>	<起動>	
2009/01/23 10:25:20	PC16	<User1>	<起動>	
2009/01/29 17:09:29	PC16	鏡 幸次郎	持ち出し	
2009/01/29 17:09:29	PC16	鏡 幸次郎	持出	G統計オプション.pdf
2009/01/29 17:26:17	PC16	<WinBird>	<起動>	
2009/01/29 17:27:15	PC16	鏡 幸次郎	<使用>	
2009/01/29 17:27:39	PC16	鏡 幸次郎	<通知>	
2009/02/05 9:15:38	PC16	<User1>	<起動>	
2009/02/05 9:18:08	PC16	<User1>	<起動>	
2009/02/05 9:22:47	PC16	<User1>	<起動>	

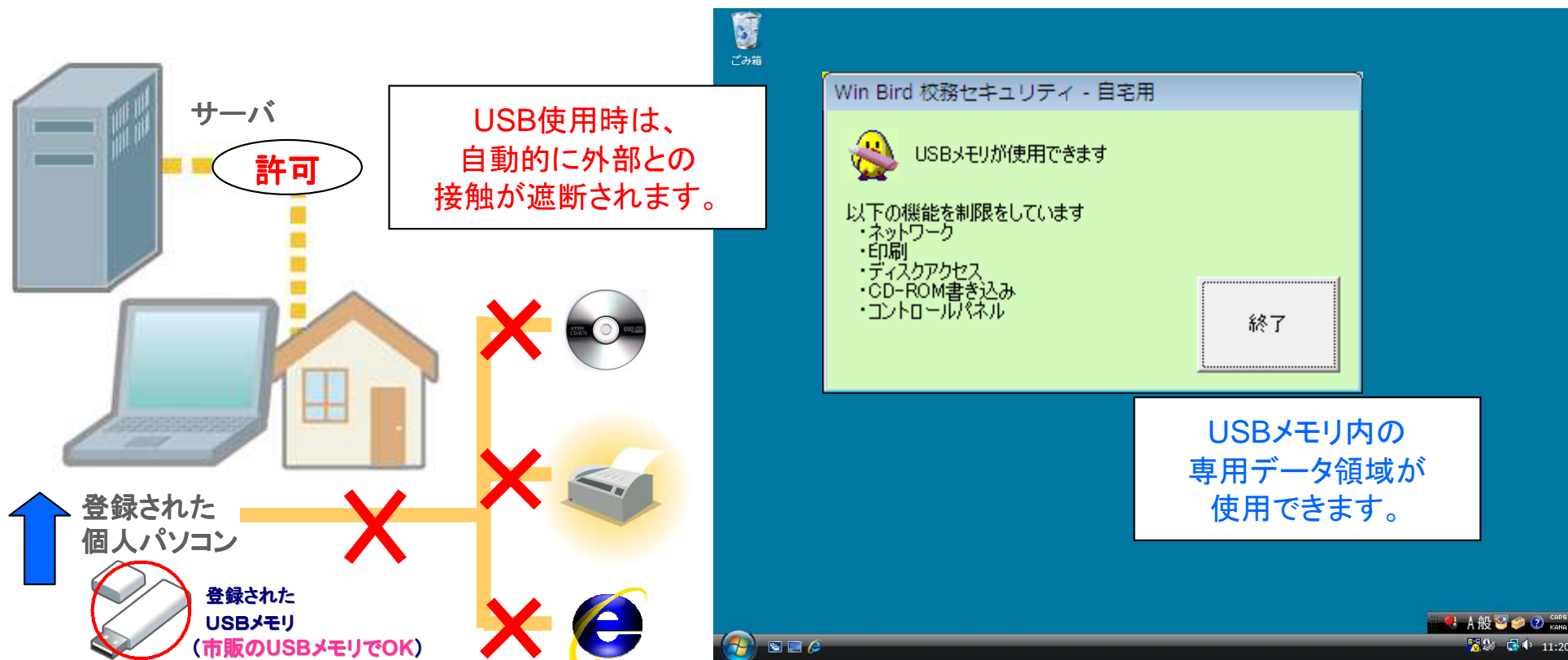
管理用パソコン

管理用PCで操作記録を  
すべて確認することができます。

4. 自宅に持ち帰ったデータはパスワード認証後に使用可能となります

USBメモリ外へのファイルコピー禁止、ドライブ参照不可  
インターネットは自動的に遮断されます

自宅や社外で登録されたUSBメモリを使用している間は、外部との接続が自動的にシャットアウトされ、情報が漏れることは一切ありません。



## 5. 自宅パソコンのデータが”許可されたUSBメモリ”で使えます！

自宅パソコン(ローカル)にあるデータを  
許可されたUSBメモリにコピーして持ち運び可能

自宅PC



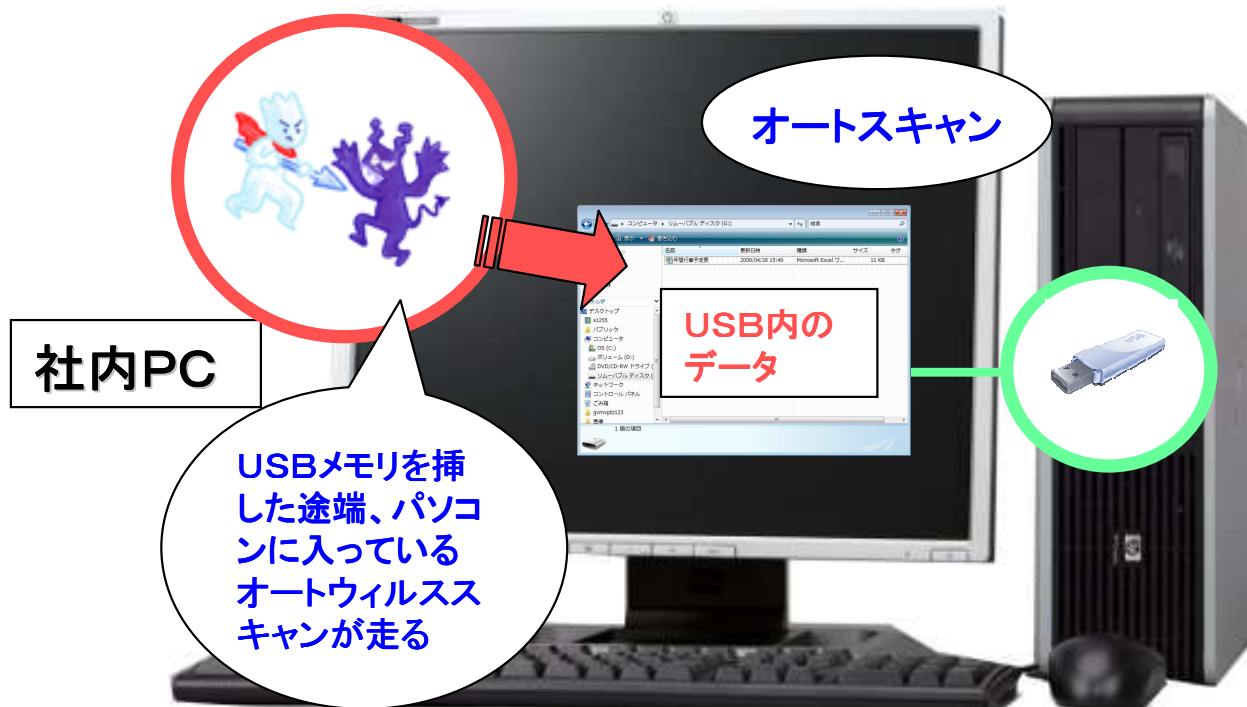
自宅パソコンのデータを  
”許可されたUSBメモリ”に  
気軽にコピーして  
利用することができます。

自宅パソコン内に専用のデータフォルダを作成します。その専用フォルダのみ、許可されたUSBメモリ使用中でも参照可能となります。よって、何か自宅パソコンの中にコピーしたいデータがある場合は、その専用フォルダにデータを移し、そこからUSBメモリにコピーする、という流れになります。

## 6. 自動ウィルス・スキャンが走り、情報流出・ウィルス感染を防止！

USBメモリを社内パソコンに挿入した時点で  
USBメモリ内のデータをオートスキャン！

万が一、USBメモリ内のデータがウィルスに感染していても、  
自動オートスキャントリガ実装で社内パソコンを守ります。



USBメモリを社内PCに挿入した時点で、USBメモリ内のデータをオートスキャンします。  
(※対応のウィルススキャン製品の、オートスキャン機能がONになっている場合に限りです)

この機能は、パソコンに入っているウィルスソフトのオートスキャン機能を使って(借りて)の動作となります。

※対応ウィルススキャンソフト…「Windows セキュリティセンター」に対応したウィルス対策ソフト

## Win Bird BSSは

ポイント

# USBメモリ及び管理下に置かれるPCの登録制

あらかじめBSSへのシステム登録をすることにより、市販のUSBメモリをシステム専用のUSBメモリとして使用することができます。



USBメモリー  
(市販のUSBメモリでOK)

使用を許可され、**暗号化されたUSBメモリ**を使用

暗号化

※ 暗号化には、世界の国々で機密情報を保護することを目的に設計され、日本電子政府の推奨暗号にリストされているシステムを採用

あらかじめBSSへのシステム登録をすることにより、第三者のパソコンでは大事なデータの入っているUSBメモリのデータ領域を見ることができません。



管理下に置かれるPC

社員のPC、自宅の個人PCは**登録されていないと使用できないシステム**となります

Win Bird BSSは



数あるセキュリティ製品の中でも安心安全のシステム

社内での作業はもちろん

**自宅での作業も安心**して行うことができます

多忙を極め、社内にいる間では処理きれない業務があっても...



業務に関する重要なデータ、または大切な個人情報などを社外や自宅に持ち帰り作業した場合でも**確実に情報の流出をシャットアウト**できます。

**安心**





Win Bird BSS は、自治体や企業様で幅広くご利用いただいております。



環 境	ファイル共有が利用できる環境 クライアントの同時アクセス数に問題のないこと
対応機種	DOS/V機
対応OS	Windows XP Sp2以降※32bitのみ/ Vista/ Windows 7
CPU	OSが推奨する環境以上
メモリ	Windows XP: 256MB以上推奨 Windows Vista/ Windows 7: 1GB以上推奨
その他	OSが快適に動作する環境

開発・販売



ウィンバード株式会社

TEL. 053-595-1255 FAX. 053-595-1256

URL <http://www.winbird-gp.co.jp/>

お問い合わせ先



株式会社 ケイアイティ

TEL. 082-847-5089 FAX. 082-855-4855

URL <http://www.kumanoit.com/>